

環境審議会「循環型社会構築部会」報告

1 開催日時等

(1) 開催日

令和3年3月29日(月)13:00～14:00

(2) 会場

エルガーラホール7階 中ホール

(3) 議事

循環のまち・ふくおか推進プラン原案について

(4) 出席者（出席者8名、欠席者1名）

松藤 康司	委員（部会長）	平 由以子	委員
伊藤 嘉人	委員	田中 綾子	委員
大森 一馬	委員	中山 裕文	委員
小出 秀雄	委員	松野 隆	委員

2 議事概要

(1) 議事概要

- ・原案については事務局案のとおり、了承する。
- ・市民・事業者にとって分かりやすい広報に取り組むこと。

(2) 主な意見と考え方等

意 見	意見に対する事務局の考え方等
ごみ減量・リサイクルに係る消費者の負担感を軽くして社会貢献をしようという意識につながるように、ESG 投資に関する施策や環境配慮型商品の普及といったところにも取り組んでもらいたい。	市民にとって、可能な限り負担が軽く続けやすい施策を検討していく。 ESG 投資や環境配慮型商品の普及については、事業者等と連携しながら、取組みを検討する。
福岡市は政令市の中で 15～29 歳人口の割合が高いため、学生や若者世代にも読んでもらえる計画としたい。	新計画では分野横断的施策として、年代やライフスタイルといったターゲットに応じた環境教育・広報啓発に取り組むこととしている。学生等の若者世代については、企業や大学との連携や SNS や動画など親しみやすいコンテンツによる情報発信などによる広報啓発に取り組む。
わたしたちの合言葉（20 頁）で示した 3 つの S（Simple、Slim、Share）のうち、Share の和訳は「シェアする」ではなく、「共有する」とした方が高齢者も含めた幅広い世代に分かりやすい。	市民への分かりやすさを踏まえ、「Share」の和訳については、「共有する」に変更する。
リユース品、リサイクル品を使用する受け皿づくりを考える必要がある。産業廃棄物については、県のリサイクル製品認定制度があるが、一般廃棄物についても仕組みを検討してほしい。	第3次産業が多い都市特性上、消費者側に着目した取組みが重要であり、小売店等の業界団体と連携しながら取組みを検討する。
校区で清掃活動を行う方も高齢化している。また、活動目標と達成感を持っていただくことが重要であり、環境行動賞等のツールを使って、活動を支援してほしい。	表彰については、地域団体のモチベーションになる部分だと考えており、地域活動を盛り上げるという観点からも検討していきたい。

意 見	意見に対する事務局の考え方等
他都市では、団地内で高齢者のごみ出しを支援する仕組みを整えているところもある。環境局の所管ではない部分もあるかもしれないが、調査研究を行ってほしい。	他都市の先行事例などを調査研究しながら、福岡市のごみ処理システムに適した高齢者支援策を検討する。
高齢者は校区の回収拠点まで古紙を持ち出すことが難しく、地域集団回収の主な担い手である子ども会の活動が成立しない地域もあるため、報奨金を増額するなどの対策を検討してほしい。	家庭系の古紙については、共創のまちづくりや環境学習の観点、報奨金が地域団体の活動資金となっている状況を踏まえて、地域集団回収を中心に資源化に取り組んでいるが、課題への対応を踏まえ、古紙回収業者等と連携しながら、回収量の増加策を検討していく。 報奨金については、一律に金額を上げるということではなく、地域における支え合いなどの取組みを支援する観点から制度を検討していく。
家庭系の古紙をごみ袋に入れて出せるような仕組みがあれば、もっとリサイクルが進むと思われるので、検討してほしい。	
事業系ごみについても、雑がみの資源化の徹底を図ってほしい。	令和2年10月に開始した古紙の分別区分追加を機に、事業所への個別訪問等を通じて、雑がみ回収の認知度向上に徹底的に取り組んでおり、今後も資源化の徹底を図る。
食品廃棄物の削減については、もう少し高い目標設定が必要ではないか。食品ロスの削減と生ごみのたい肥化による栄養資源の循環はSDGsの達成にもつながるため、取組みを強化してほしい。	目標については、国における目標値などを参照しながら設定した。 食品ロスについては、常設のフードドライブスポットの設置や食品ロスダイヤリーの配布などの施策により、削減に取り組む。 また、栄養資源の循環については、原案54頁にも示しているとおり、調査検討のテーマとして検討する。
新計画では多くの施策が盛り込まれており、施策を実施する上で財源の確保も重要な視点となる。	環境市民ファンド及び事業系ごみ資源化推進ファンドを活用し、一定程度の財源は確保できると考えている。ただし、昨今の厳しい財政状況もあるため、既存事業の見直しなど、バランスを取りながら検討する。
計画の概要版（リーフレット）については、古紙、プラスチックごみ、食品廃棄物の重点3品目や目標が分かりやすく伝わるよう検討していただきたい。	概要版（リーフレット）については、市民・事業者にとって、分かりやすく、関心を持っていただける内容となるよう検討する。
概要版（リーフレット）では地球規模の課題についても言及した方が良い。	